

## PRESS RELEASE

[プレスリリース]

### スタンダードチャータード銀行、 プライオリティバンキングの顧客向けに新華ファイナンスジャパン株式会社と業務提携 中国・香港への企業進出を考える経営者に、初回無料コンサルティングを提供

[2006年4月12日、東京]

英金融大手スタンダードチャータード銀行(本店:ロンドン、東京支店:東京都千代田区、東京支店CEO:マーク・デヴァダソン、コンシューマーバンキング部門在日代表:青沼丈二)は、このたび、新華ファイナンスジャパン株式会社と業務提携<sup>注1</sup>することを発表しました。本提携は富裕層を対象としたプライオリティバンキング顧客に対するサービスのさらなる強化を目的としています。

スタンダードチャータード銀行のプライオリティバンキング部門では現在、資産運用アドバイスサービスの一環として、定期的な預金商品や投資信託等の金融商品を幅広く提供しています。また、銀行業務に含まれないサービスについては、各業種との業務提携をすすめ、初回コンサルティング無料などの付加サービスを拡充しております。

今回の業務提携により、同行プライオリティバンキングを利用する顧客は、中国・香港へ事業進出を検討する際に、新華ファイナンスジャパン株式会社の初回コンサルティングを無料で受けることができます<sup>注2</sup>。

スタンダードチャータード銀行は、最上のサービスと利便さを顧客へ提供するため、常に“イエス”の姿勢であることを目指しています。本提携において直接当行が関与する業務以外について、顧客のために適切な専門家への橋渡しを行うことは、この精神に沿ったものです。

スタンダードチャータード銀行コンシューマーバンキング在日代表の青沼丈二は、次のように語っています。「当行の強みは、アジア・アフリカ・インド・中東など広い範囲での国際的ネットワークです。当然このような情報へのアクセスを望んでおられるお客様が多くいらっしゃいます。当行の専門外であったとしても、必要に応じた解決策を見つけて差し上げることが、われわれの目指すコンシェルジュサービスの一環となると確信し、本業務提携を決定しました。これは従来の銀行サービスの文化を、ホテル並みの接客文化へ変えていくという当行の挑戦の過程であると言えます。今後も、プライオリティバンキングサービスのさらなる拡充を図っていく所存です」。

1. 新華ファイナンス・リミテッドについては以下をご参照下さい。
2. 初回コンサルティング後のより詳細なご相談については、プライオリティバンキングご利用のお客様と、新華ファイナンスジャパン株式会社との個別契約となります。

#### お問い合わせ先:

スタンダードチャータード銀行  
コンシューマーバンキング  
洲崎 由美子

Tel: 03-4360-8873 / Fax: 03-4360-8899

E-mail: [Yumiko.Suzaki@jp.standardchartered.com](mailto:Yumiko.Suzaki@jp.standardchartered.com)

URL: <http://www.standardchartered.co.jp/cb/pb/>

### 新華ファイナンスジャパン株式会社について

新華ファイナンスジャパン株式会社は、2000年7月に設立され、中国金融情報と中国進出コンサルティングサービスのプロバイダーとして、中国企業データベース、インターネット中国株価リアルタイム情報を配信するなど、中国金融情報のパイオニアとしての役割を果たし、これまでに東京証券取引所、毎日新聞などといった数々の有力なお客様に対してサービスを提供して参りました。当社は、お客様にさらに責任のある高品質な情報を提供するため、2003年8月に新華財經有限公司の子会社となり、社名を「新華ファイナンスジャパン株式会社」と変更いたしました。新華ファイナンスジャパン株式会社は新華財經グループの一員として日本でのマーケティングを担当し、ニュース、データベース、格付情報、業界分析、インデックス、取引システムなどの金融関連情報およびサービスの提供に加えて日本企業の中国進出および中国市場でのIR/PRを力強くサポートして参ります。

### 世界におけるスタンダードチャータード銀行について

スタンダードチャータード銀行は、アジア・太平洋地域、南アジア、中近東、アフリカ、英国、南北アメリカの50カ国以上で950の拠点を有する、世界でもっとも国際的な銀行の一つです。3万8000人の従業員を擁しており、その国籍は80にのぼります。

スタンダードチャータード銀行は、リテール(小口金融)およびホールセール(大口金融)業務の両面でサービスを提供しています。リテール銀行業務では、個人顧客および中小企業に向けてクレジットカード、個人ローン、住宅ローン、預金、資産運用のサービスを展開しています。また、ホールセール業務では、企業および団体に対する、貿易金融、キャッシュ・マネジメント、貸し付け、証券サービス、外国為替、債権資本市場、コーポレートファイナンスを手がけています。

スタンダードチャータード・ピーエルシーは、ロンドン証券取引所ならびに香港証券取引所に上場し、時価総額ベースでFTSE100構成銘柄の上位25社の一つに数えられています。

世界におけるSCBのウェブサイト(英語): [www.standardchartered.com](http://www.standardchartered.com)

### プライオリティバンキングについて

プライオリティバンキングは、プライベートバンキングが提供する顧客一人ひとりごとに合わせたアドバイスとサポートにコンシューマーバンキングが持つ便宜性と経済性を融合させたもので、アジア、中近東、アフリカなどの26ヶ国におよぶ市場で展開されています。日本におけるプライオリティバンキングは、預かり資産残高が2,000万円相当額以上の顧客層を対象に設計されたもので、経験豊かな専任の担当者が、顧客一人ひとりの資産形成をきめ細かくサポートする、5つ星ホテル並のコンシェルジュサービスを提供します。

プライオリティバンキングが提供する主な金融製品は、外貨預金および投資信託です。スタンダードチャータード銀行の外貨預金商品は、従来から日本で提供されてきたタイプのサービスを総合的に見直したものであり、最高レベルの普通預金金利と為替手数料無料を提供します。香港、シンガポールなど、スタンダードチャータード銀行が展開する他の市場では、この種の外貨預金口座は、富裕層の資産運用のツールとして受け入れられ実績を重ねてきました。

日本におけるスタンダードチャータード銀行プライオリティバンキングのウェブサイト(日本語): <http://www.standardchartered.co.jp/cb/pb/>

### 日本およびアジアにおけるスタンダードチャータード銀行について

日本におけるスタンダードチャータード銀行の歴史は、横浜にはじめての出張所を開設した1880年にさかのぼり、昨年の11月1日には開設125周年を迎えました。東京支店は山王パークタワー(千代田区)にあり、現在170人を擁しています。うち日本人社員は94%にのぼります。スタンダードチャータード銀行は、アジア、アフリカ、中近東の各地域に投資する日本企業および銀行に対して、ホールセール(大口金融)、カストディ、トレジャリーおよび貿易取引の各業務分野におけるサービスを提供しながら成長を続けています。

スタンダードチャータード銀行は過去1年間、Permatta Bank(インドネシア)、韓国第一銀行(韓国)、ANZのアジア、中近東全域のプロジェクトファイナンス事業、Prime Credit(香港)等の一連の買収戦略と、自身の自律成長を共に進め、アジア、アフリカ、中近東の各地域で確固たる地位を確立してきました。また、中国では150年にわたり事業発展を進めてきました。事業拠点を香港におき、珠江デルタでの成長を続ける一方で、その勢力をさらに北に拡張すべく、中国のネットワーク(現在7支店)を通じて現地の銀行との提携の機会も探求しています。

スタンダードチャータード銀行は、視力回復およびHIV/AIDS教育の分野で地域組織を支援するCSRプログラムを積極的に実施するなど、地域社会への貢献に向けてたゆまぬ努力を続けています。

日本におけるスタンダードチャータード銀行プライオリティバンキングのウェブサイト(日本語): <http://www.standardchartered.co.jp/cb/pb/>

日本におけるSCBのウェブサイト(日本語): [www.standardchartered.com/jp/japanese/](http://www.standardchartered.com/jp/japanese/)

日本におけるSCBのウェブサイト(英語): [www.standardchartered.com/jp/index.html](http://www.standardchartered.com/jp/index.html)

スタンダードチャータード銀行は“Seeing is Believing”プログラムを推進しており、2年間で100万人の視力回復の実現を目指しています



以上